## 子どもたちの微量放射線のリスク ガンだけではありません

チェルノブイリで被ばくした子どもたちは、いろいろな機能的異常を訴えています

- □講演の一部紹介//黒部信一/チェル/ブイリ子ども基金顧問/未来の福島子ども基金代表 2011.10.30
- ◆低線量被ばく//時間が経ってから起きる障害は、外部被曝と内部被曝(体内に入り込んだ放射能をもつ物質が、体内で発する放射線による被ばく。大気からの吸入と飲食物に付着した放射性物質の摂取)があります。
- ◆微量放射線のリスク//「チェルノブイリで被ばくした子どもたちは、いろいろな症状を訴え、脳神経系、免疫系、内分泌 (ホルモン)系、筋骨格系などの病気に・・」しかし、・・数値化できず、放射線の影響は・・発がん率で・・。事故後の健康調査、医師たちは、何倍もの機能的異常があるという。子どもの放射線に対する感受性は平均して成人の10倍です。
- ❖ドイツではベクレル表示した食品も売っています。ベラルーシは飲食物の放射線残留基準が厳格な基準です。

**□もし日光がロシア基準に当てはめると**//除染をすすめなくて安心? □ (2001.10.31/下野参照) 日光市の約 6 割は、年間 1 ミリシーベルト以上(毎時 0.23)で**移住の権利で引っ越し支援の地域に該当**します!!

日光は、風評被害どころか、多くの人が栃木県内でも那須地域などと、放射能汚染が高いことを知っています。日光市は、約6割が政府の放射能除染基準、年間1ミリ、毎時0.23マイクロシーベルトを超える除染対象地区です。市は、チラシで「日光市内は、おおむね毎時0.10~0.20を推移」と言っていますが、0.25前後で推移しています。

栃木県の過去(原発崩壊前)の平均値/0.030~0.067

## 県内の市民の動き 日光は安全?

□「那須を希望の砦にしよう」プロジェクト//e-mail/toride@nasu-house.com

2011.10.17/下野

- これまで那須地区の住民5約 1000 人が放射能に関する知識などまなぶ。寄付で20台の測定器を購入。全13小学校の通学路155ルートを3か月に渡って測定し除染に取り組む。内部被ばく対策で食品の測定も始め、全品検査を原則に各小学校に無料で測定器を配備など行政に求める考え。住民が動けば、国などの甘い基準を押し戻せる。
- □宇都宮・放射能から子ともを守る会// 山本太郎さん講演会チラシ抜粋 e-mail /utsunomiya.save.child@gmail.com 空気・水・土が放射能・・汚染・・危機意識に駆られ・・自発的に集まったにわか集団・・・国は「風評被害」という言葉を錦の御旗に見立てて「安心」を押し売り・・子どもの健康を・無視する訳にはいかない・・「何事もなくてよかったね」と・・最善を・・市民の無関心が行政の無対応を許す・そんな思いから、「私たち一人ひとりが、今の生活を改めて見つめ直すきっかけに□塩谷//子どもたちを放射能から守る陳情書 2011.08.30/下野
- \*子どもの被ば〈低減の対策、保育園小学校などの校庭の表土除去、給食の配慮など639人分の署名を提出。
- □ 益子//放射線から子どもを守って/5市民団体が町に要望書

2011 10 22/下野

\*給食センターに放射線測定器導入し毎日測定、砂場の砂を定期的に取り換え、町民との協議会の設置など要望

宇都宮・放射能から子ともを守る会

- □**お誘い**□ ~ いま、原点に還って考える、放射能汚染問題、原発問題~山本太郎さん講演会 日時 11月5日(土)18:30開場//18:45開演 20:45終了 場所 宇都宮市文化会館//小ホール 山本太郎さん//NHKの『ふたりっ子』、映画『バトル・ロワイアル』、NHK教育のトーク番組『トップランナー』司会。 参加費1000円//運営費を除く収益は福島の子ともたちを守る活動に寄付
- □11月11日//17時30分~19時//経済産業省を人間の鎖で包囲//http://tentohiroba.tumblr.com/

## □ 身の回りの情報、声

- ❖南原出張所で測定器を貸し出した人の中で、音が鳴りっぱなし(2.5 以上)の人がいたといいます。
- ◆知人は、計ってみたら音が鳴りっぱなしで、線量高く驚いたと言っていました。
- ❖南原出張所隣の児童公園で遊戯の地表が 0.30 以上と聞き。後日、出張所に聞くと 0.10 前後とのこと。
- ❖私のところは市内でも放射線量が低いと思って測定すると 0.3 を超える数値で驚き、子どもたちの健康を心配して土の表面を少し削ると半分以下になり、ひと安心しました。
- ❖今市方面で 0.6 以上の放射線、子どもがいつも歩〈場所、玄関前などを 2~3cm でも地表を削ればずいぶん違う。小学校でもPTAで少しずつでも地表を削れば安心。みんななぜ動かないかないの。

訂正 2011,10,28 チラシ//外部被ばく0,23 は成人//子どもはさらに低量で日光は70%以上の地点・地域が危険です

考えていること 木和田島//tel 0288-26-0130/おおしま 2011.11.04/no.02 放射能被ばくから健康を守り、脱原発の声を。各地のグループにまなび情報交換など。一人ひとりができることを、みんなで協力していく会をつくりたい。一人でやれることは限度があります。一緒に何をすべきか何ができるか考えみませんか。